

なりたい自分になる。そして…

# Suma Press

SUMA GAKUEN 2025

合格おめでとう号

02 ——— 理事長、学園長あいさつ

03 ——— 高等学校校長、教頭あいさつ

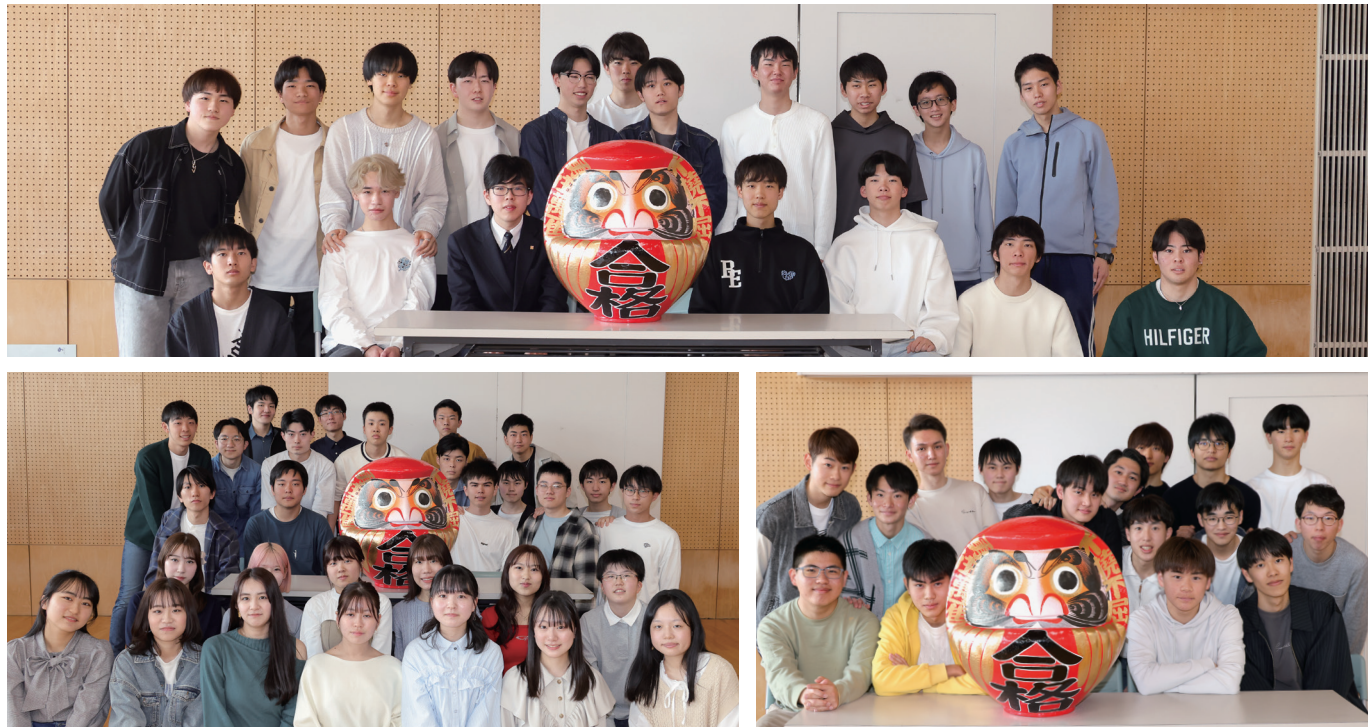
04 ——— 合格体験記：東京大学・京都大学・大阪大学・神戸大学・  
大阪公立大学・香川大学・北海道大学・東京藝術大学  
はなむけのことば

16 ——— 2025年度 大学合格実績



SUMA GAKUEN





理事長

西 泰子



学園長

西 和彦

中高一貫16期生、共学24期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

この3年間（6年間）を振り返ってみると色々なことがありました。新型コロナウイルス感染拡大のため、学校生活は大きく変わりました。

コロナ禍の中、それでも皆さんは受験に向けてひたむきに努力を積み重ねられました。誰もが初めて経験するオンラインでの授業になり、普段にも増し受験の準備は大変だったと想像します。学校に来られずに自宅で勉強していた時間はさぞかし孤独な時間だったと思います。

しかし、この時間はまたとない「学びの機会」でもありました。先生たちは何が正解なのか分からない中、「皆さんにとつていい」と思われることを試行錯誤しつつも一生懸命やりました。皆さんも先生たちを信じ、学びを止めることなく続けられました。

クラスメートや先生たちと直接関わることができない時間に学んだことは知識だけではなく、人との関わりの中で私たちは生活していること。困難を共有しともに乗り越えていくこと。様々な人たちの学びがありました。皆さんにもたらされた大学入試の結果はそれぞれだったかもしれませんが、皆さんがこの間に経験された「学び」は確実に将来に続く学びだと思っています。

これから先、社会のあり方は以前とは変わっていくかもしれませんが、これからも学びを止めることなく、「なりたい自分」を実現するために努力を積み重ねていっていただきたく思います。皆さんの引き続きのご健闘とご活躍を応援しています。



高等学校校長

堀井 雅幸



高校一貫教頭

吉田 泰明



高校教頭

久永 知史

中高一貫16期生・共学24期生は、須磨学園での日々を全力で駆け抜けました。特に中高6年間、高校3年間の集大成であり、最上級生となる高校3年生、そして受験生としての時間においては、将来の「なりたい自分」を目指して懸命に前を向いて日々力強く歩む姿が、後輩たちに勇気を与え、よき模範となってくれました。日々の通常授業に加えて、放課後や長期休暇における大学別・分野別の特別講座、9月までの自学、日曜自学、そしてゴールデンウィーク、お盆、クリスマスや年末年始における特別企画など、須磨学園でのあらゆる機会を活かして成長を遂げました。この丘の上のパワーを存分に活かして、一人ひとりが「to be myself...」を描く努力を積み重ね、学園にさらなるパワーをもたらしたのです。

彼らが溢れる期待に応え、文化祭や体育祭などの学校行事において先輩としての立派な足跡を残してくれたこと、様々な苦境にも決してくじけることなく立ち向かったこと、大学受験という大きな勝負に果敢に挑み最後まで戦い抜いたこと、大いなる志を胸にはいるかなる未来へ向けて力強くこの丘を巣立っていったこと、そして彼らが我々の胸に残してくれた数々の思い出と果てしなく大きな希望...これらの小さな奇跡の積み重ねによって刻まれた大いなる軌跡は、私たち教職員や後に続く後輩の皆さんにとって、かけがえない未来への道しるべとなるものであることを確信しています。

中高一貫16期生・共学24期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。大学受験、本当にお疲れ様でした。

2025年度の大学入試は、新課程に対応した大学入試で様々な変更点を伴いました。大学入学共通テストにおいては、新教科「情報」の参入、出題科目の再編、試験時間の見直しなどがありました。また、2024年9月段階で全学的に難関10大学への志願者が多いとの報道もあり、とても厳しい受験だったと思います。

そんな中、須磨学園の高校3年生は、歴代最高の実績をあげる成果で、多くの人の夢が実現されました。近年、大学入試が何度も見直されています。私は、その見直しで大学入試は洗練されてきたと感じており、昔の「入試が終わった」というような傾向はなくなりつつあります。大学入試に備えて培った、そのほとんどは後の「生きる力」になっていくと感じています。積み重ねた努力と成果を、ぜひともこれからの人生の糧にしていってください。

さらには、須磨学園生活の、行事から、同級生・先輩・後輩と出来上がった絆から、教員と築いた時間から「たくさん生きるための引き出し」も得たことだと思います。自信を持って、未来を生き抜いてください。健康で元気に過ごされることを願っています。

大学合格おめでとうございます。

平均競争率数倍という難関を乗り越けて、勝利した諸君に言いたいことは、これからも競争社会という世の中の非情を勝ち抜いていってほしいということです。大学入試で数倍、大学院修士で数倍、大学院博士で数倍、そのあと、たとえば大学では、大学講師で数倍、大学教授で数倍、例えば会社でも課長に数倍、部長に数倍、役員に数倍、社長に数倍などと合計数百倍の狭き門が当たり前がこの社会です。それを恨んでみても仕方がありません。人を切り落としてゆくことが、長い間に確立されたこの社会の選抜システムなのです。

須磨学園はそういうシステムを否定するものではありませんが、それよりも自己実現とそれによる達成感の満足が最も大切であるという信念に基づき、諸君らが自分の専門を世界レベルにまで高めて、それで社会に貢献してゆかれることを願っています。

自分が上のポジションに進むことができる人は限られた人です。合格によってその一歩を進み始めたそういう人は、自分のことだけでなく、周りの人にも幸せを分けてあげてほしいと思います。それが上に行く選ばれた人の果たさなければならぬ周りへの責任ではないでしょうか。

私は自分のこの69年の人生を振り返って見たときに、新しいチャンスは自分で掴んできたのではなく、いつも自分のことを評価してくださった上司や先輩が自分を引き上げてくださったことを忘れることはできません。ぜひ君たちも在学中に学んだ「XYZ・T・心」を大きく、温かくするための考えと、その心で周りの人に接してゆくことの実践を強く期待するものであります。

2025年度大学入試において目標を達成された皆さん、そして日々支えてこられたご家族に、心よりお祝い申し上げます。

皆さんは、T・B・Mで高い目標を掲げ、授業・行事・部活動すべてに全力で取り組んできました。中でも印象的だったのは、困難に直面しても粘り強く挑む「やり遂げる力」です。文化祭や体育祭での不測の事態への冷静な対応、模試や成績の変動に動じず努力を重ねる姿勢——この力は、進学にとどまらず、今後の人生においても大きな支えとなるはずです。

実際「やり遂げる力」は、ある教育関連企業による全国調査においても、社会で活躍するために最も重要な資質の一つとされています。

さらに皆さんは、大学受験という挑戦の中で、「データを見る力」も確かに養いました。模試の結果や過去問の分析、出願傾向など、膨大な情報を読み解き、柔軟に戦略を調整しながら取り組む姿が頼もしく映りました。

AIやデータサイエンスがあらゆる分野の基盤となるこれからの時代には、感覚や経験だけに頼る姿勢では、変化のスピードに追いつくことはできません。数値に基づく判断力と、状況に応じて柔軟に戦略を修正する実行力を兼ね備えた皆さんは、まさにその時代にふさわしい力を身につけています。

これから歩まれるそれぞれの進路において、皆さんが社会を照らす光となることを願ってやみません。今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。



合格するにはわけがある  
23人の受かった！レポート！



東京大学  
理科一類

★E  
★W  
★G  
★G  
★P  
★P  
★C  
★C  
★C  
★C  
★B

★B  
★B

数弱理系の東大受験

## 数弱理系の東大受験

私はかなり数学が苦手なのですが、幸い理科と英語が得意だったために何とか合格をつかみ取ることができました。そのためこの2教科を中心に今までやってきたことを書くと思います。

まず英語について一番やってよかったと思うのは、新たに習った文法事項や知識を用いて自分で例文を作ることです。私は、例えば「推し」の身長差を比較級で表現したり、新たに習った単語で勝手にストーリーを作ったりして遊んでいました。そうすることで無味乾燥な知識事項を自分の生きた技術にすることができました。またある程度知識が身についたら単語の勉強はほどほどに、とにかくたくさんの英文を読みました。東大英語では難単語はめったに出ませんが、とにかく文章量が多いで

す。そのため読むスピードを上げると点数が飛躍的に伸びると思うと、『速読英単語 上級編』という本を用いて速読力を強化しました。その結果安定して高得点を出せるようになりました。これらを行ない、英語を時間のある高2までに完成させておくことで、高3は過去問演習をやるだけでよくなり、他の科目に時間を費やすことができました。

次に理科については、常に「なぜそうなるのか」ということを自問しながら授業に臨み、「本質を理解する」ということを徹底しました。特に物理は学校で習った法則や公式に微積分を使って自分で導出するなど高校課程を超えたこともやりましたが、このように根本から理解して盤石な基礎を作っておくことで入試に向けての演習にも割と楽に対応することができました。高3に入ってからは一つでも多くの問題にあたり、演習を重ねるということをしました。特に化学はある程度問題パターンが決まっているので全パターンを網羅する勢いで問題を解いていました。英語と同じように東大の理科はスピードを要求されるのでとにかく演習をして基本問題を瞬殺できるようにしておくの

が大切だと思います。

東大の試験では一日目の最後に数学があり、失敗するとなり落ち込みます。私も数学で一回も完答できず、試験終了後は試験前と比べて部屋が明らかに暗くなっているように感じました。しかしそれでも東大に合格できました。なので皆さんも最後まで希望を捨てずに戦い抜いてほしいと思います。皆さんの合格を心よりお祈りいたします。



東京大学  
理科一類

|   |   |   |   |   |    |   |   |
|---|---|---|---|---|----|---|---|
| B | W | E | ★ | ★ | ★  | J | E |
| B | S | E | ★ | G | ★  | C | E |
| B | S | M | ★ | G | ★  | J | E |
| B | S | M | ★ | M | ★  | J | E |
| A | S | M | ★ | S | ★  | J | E |
| A | P | M | ★ | P | ★  | G | M |
| A | P | J | ★ | P | Fe | G | M |
|   | C | J | ★ | C | Fe | G | M |
|   | C | W | ★ | C | W  | P | M |
|   | C | E | ★ | C | W  | P | J |

楽しんだもん勝ち

私は、誰よりも楽しんで心身共に健康なまま大学受験に勝ったという自負があります。ここではその秘訣について述べたいと思います。あらかじめ断っておきますが、あくまでこれは個人の例であり、

見習えば必ず上手いくという訳ではありません。また、具体的な勉強方法は語り出すときがないので、気になる人は進路相談室にある資料を参照してください。

秘訣その1は、入学時から常に集中して授業を受け、一定の勉強を続けることです。中学1年の春課題考査の成績が振るわなかった段階で危機感を覚え、以来授業を第一に地道に勉強に取り組んだことで、勉強していいことに罪悪感を覚えるまでになりました。受験が近づいてから死ぬ気で頑張るという手もありますが、早いうちから好成績を収めておくことで、心の余裕や一度のミスでは揺るがない自信が手に入るとするのが最大の利点だと思います。

大の利点だと思います。

秘訣その2は、自分の勉強スタイルを確立することです。私の場合は高3の夏まで部活動が続けたため、特別講座を利用しつつ放課後は部活動か特別講座でぎっちり埋まっているという生活が続けました。帰りの電車で45分の勉強時間を確保できたため、特別講座以外で9時学に参加したことはありません。自分を客観視して、最適なやり方を早期に確立して習慣化したのが良かったと思います。

良い関係を築くことです。6年間の信頼関係を大切にし、共通テストが近づくにつれ、先生に授業の進め方などで意見を共有したこともありました。また、欠かさず授業や特別講座には出ていました。

自分にあつた努力

私が東京大学に合格できた理由の一つに、安定した精神をもって受験に臨めたことがあります。今回は、相応の努力をあまり負担に思わない心がけ・環境づくりについてお話ししようと思います。

まずは、定期考査の勉強を十分に行うことです。限定された範囲で出題されるテストを解くには、限定された範囲を勉強することのみが必要です。必然、努力が結果に結びつきやすく、自信獲得と能力獲得への近道になります。ここで鉄人バッジを取る経験をしておくのも良いでしょう。一度鉄人バッジを取るとその科目に対して妙な自負心が生まれ、鉄人バッジが取れなかった時に悔しさが発生します。私は、こうして定期考査ごとに何かしらの悔しさを得ることが勉強のモチベーションでした。

続いて樂觀的になることです。強大な敵を取るに足らない小物に思うことは、必ずしも正解ではないとはいえ、いつも私の心を守ってくれました。これを裏付けていたのは、自分の努力というより他人への信頼です。特別講座や個別指導の先生にいつでも頼れる自分の状態を考えると、困難なことも樂觀的に捉えられるものです。こ

の道何年、何十年の先生方がいるなら、自分のような一生徒が独断であれこれと悩むより、偉大な先生方を全面的に頼った方が効率がいいのですから！……という考えで、あまり自分の意思だけで物事を進めようとしなかったことが、結果的に自責思考へ陥らない力になったのかも考えています。

最後に、読書はいくつかの点で私の受験を助けてくれました。まず、読書を楽しむ時間が精神的支柱になったことが一点。もう一点は、それが教養の礎となったことは、それが教養の問題を解いて勝手です。東京大学の問題を解いて勝手にはこんなに物事を深く、多角的に考えられる人間を欲しているのだ」という要求です。ここでまさに必要な教養の力は、きつと受験勉強を通じても身につくものものではあります。自分は読書のおかげで多少の工程を飛ばして得ることができたと思います。

このように私は他人より少しずつ楽をしながら受験を乗り越えることができました。しかしこの方法でも受験前にはきちんと不安になりますし、自分の至らなさを責めることもあります。結局、どのような方法が合うかは人それぞれなのので、先輩の皆さんが、自分の環境で、後輩の皆さんが、自分の環境で、夢に合わせた、適切な努力ができるよう願っています。

**感謝**

普段から生活に抜け目の多い私が東京大学に合格できたのは、主



東京大学  
理科二類

ここまで、今までにないような合格体験記を書こうと自由気ままに綴ってきましたが、こんな人もいるのだと参考程度に読んでもらえると嬉しいのです。後輩の皆さんが充実した学校生活を送れるよう折っています。自力で満足できる結果を掴み取ってください。

私は直前期も本番も緊張感がなく、集中した雰囲気で大張りつめている同級生にとっては迷惑かもしれないと思ったので、自学の教室ではなく職員室前にて一人で自習していました。同時に、気が合う友達とは直前期でも1時間以上どうでもいい話で盛り上がる事が多かったです。受験は団体戦とよく言われます。学年やクラス、友達の雰囲気を取り、和を乱さない行動を心掛けましょう。

に学校の授業が役に立ったことと保護者や友人、先生方に支えられたことの2つの理由によります。

まず、学校の授業についてですが、私は特に数学と英語に力を入れていました。数学は論理的思考を鍛えるための重要な科目であり、問題を解決する力を養うのに役立ちました。授業では、先生が丁寧に解説してくださり、わからないところは何度も質問することができました。特に受験前の補習で授業では、過去問を解くことで出題傾向や解法を学ぶことができ、実践的な力が身につきました。

英語に関しては、リーディングやリスニングのスキルを高めるために、多くの時間を割きました。リーディングでは先生の文章の解釈を聞くことでより深くその文章の内容を理解することができました。英語のディスカッションやプレゼンテーションの機会もあり、実際に使うことで自信をつけることができました。このような授業を通じて、私は学ぶ楽しさを知り、東京大学の英語の入試でも自分の力を発揮できました。

次に、保護者と友人の支えについてです。私の両親は、私が勉強に専念できる環境を整えてくれました。特に、受験勉強が始まった時期には、家の中で静かな時間を作ってくれたり、必要な参考書を買ってくれたりしました。私が疲れているときには、励ましの言葉をかけてくれ、精神的な支えになってくれました。また、時には一



東京大学  
文科二類

このように、学校の授業が私の学力を高めてくれたこと、そして保護者や友人が支えてくれたことで、東京大学に合格することができました。受験を通じて得た経験は、私の人生において大きな財産となりました。最後になりますが、今まで支えてくれた先生方、家族、友人に感謝を伝えたいと思います。これから受験に臨むみなさん、志望校合格を勝ち取ってください。

|     |     |      |      |
|-----|-----|------|------|
| ★ G | ★ E | ★ J  | ★ J  |
| ★ G | ★ M | ★ W  | ★ J  |
| ★ G | ★ M | ★ G  | ★ J  |
| ★ S | ★ M | ★ P  | ★ J  |
| ★ P | ★ J | ★ P  | ★ Fe |
| ★ P | ★ J | ★ Fe | ★ Fe |
| ★ P | ★ J | ★ Fe | ★ E  |
| ★ C | ★ W | ★ Fe | ★ E  |
| ★ B | ★ W | ★ E  | ★ J  |
| ★ B | ★ W | ★ E  | ★ J  |

## 鉄人バッジについて

鉄人バッジとは各学期末に各教科成績上位9名に送られるバッジです。バッジの色は★[銅]で始まり、★[銅]を3個取ると次からは★[銀]、★[銀]を3個取れば★[金]となります。

|               | 実際の<br>バッジ                                                                                     | 表記の<br>バッジ | 英語     | リスニング  | 数学     | 国語     | 物理     | 化学     | 生物     | 日本史    | 世界史    | 地理     | 公民     | 体育     | 総合      |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 鉄人バッジ<br>★【金】 |  = ★<br>E | ★<br>E     | ★<br>E | ★<br>L | ★<br>M | ★<br>J | ★<br>P | ★<br>C | ★<br>B | ★<br>N | ★<br>W | ★<br>G | ★<br>S | ★<br>A | ★<br>Fe |
| 鉄人バッジ<br>★【銀】 |  = ★<br>E | ★<br>E     | ★<br>E | ★<br>L | ★<br>M | ★<br>J | ★<br>P | ★<br>C | ★<br>B | ★<br>N | ★<br>W | ★<br>G | ★<br>S | ★<br>A | ★<br>Fe |
| 鉄人バッジ<br>★【銅】 |  = ★<br>E | ★<br>E     | ★<br>E | ★<br>L | ★<br>M | ★<br>J | ★<br>P | ★<br>C | ★<br>B | ★<br>N | ★<br>W | ★<br>G | ★<br>S | ★<br>A | ★<br>Fe |





## びりっけつスタート

須磨学園に入学後、私はとても怠惰でしたが、そろそろ勉強しないと最上位クラスを維持できないのではないかと思い、自主的に勉強するようにしました。2年次に同じクラスに残れたものの、クラスでは最下位スタートでした。しかし、恵まれた環境の中で勉強することができ、最終的に志望校に合格することができました。朝早くに起きてお弁当を作ってくれた父や、献身的な支援をしてくれた母の存在、須磨学園の良い先生方との出会いがあつてこそその結果だと思っています。ありがとうございます。

私が自主的に勉強しようと考えた際、活用した須磨学園の学習システムは2つあります。それは、①9時学と②特別講座です。私は、授業には集中して取り組んだので、習った内容を理解はしていましたが、演習量は不足していました。そこでまず、9時学を活用することで、強制的に勉強する環境を作りました。9時学をする習

慣を卒業まで継続させたことが志望校合格の礎になったと、今では確信しています。

しかし、むやみに9時学をするだけでは、志望校合格は果たせなかつたでしょう。そこで、私が志望校合格の要だつたと考えるのが特別講座です。私は、自分に必要な講座から興味のある講座まで、幅広く受講していました。特別講座後には、先生に気楽に質問したり、友達と問題について議論してお互いに高めあつたりしていました。実際に過去問を解くなどして本格的に受験勉強に取り組むようになると、特別講座で先生方に教えてもらったことが非常に大切であるということに気づきました。

というのも、3年生の夏頃から、高校で習うべき範囲はほとんど履修済みとなつていたので、二次試験の配点が大きい数学や理科などは過去問演習に入つていたので、そのときに入試問題は特別講座で扱った問題の延長線上にあるにすぎないと気づいたからです。入試問題はいざ解いてみると案外解けるものだとか判るので、皆さんは焦ることなく、毎日の授業や特別講座を大切にしてください。振返れば、毎日の規則正しい生活が志望校合格につながつたのだと思います。

同時に皆さんには高校生活を満喫していただきたいです。友達と文化祭などの行事で必要なものをどこかに買い出しに行つて、店員さんと話して値切るといった、座学だけで

は得ることができない、学校行事を通して得た経験や技能は社会に出てから生きると思えます。最後に、自分自身の道を自分で決めて、決めた道に対して適切な戦略を立てて初めて、志望校に合格することができると思えます。道は人それぞれです。皆さんが一期一会の高校生活を悔いなく過ごせるよう、応援しています。



## プレッシャーを享受する

私は模試が苦手であり、京都大学がA判定だったことはほとんどなかつたと思います。また、共通テストの判定もD判定でした。そんな私が2次試験で逆転合格することができた理由を考えました。その理由は大きく3つあると思います。

1つ目は、勉強する習慣をつけるということ。1年次から特別講座や9時学、休日自学に積極

皆さんが貴重な高校生活を楽しみつつ、後悔のない受験生活を送られることを願っています。



## 京都大学を目指し続けて

初めに、私の京都大学合格を支えてくださった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

私は大学で学びたい分野や将来就きたい職業が具体的に见えていたわけではありませんでした。高校一年次の文理選択にも大変悩みましたが、最終的な決め手は須磨学園主催の京都大学の研究室訪問でした。専門分野について生き生きと語る先輩方の姿に憧れ、理系に進むことを決めました。その時から京都大学に合格することが私の目標でした。文理選択や科目選択について私が感じるのは、「できるから」や「点数が取れるから」で選ばないことの大切さです。思うような結果が出ない時にモチベーションを保つためには、「興味」や「好き」が強いと思います。私は理科と世界史が好きだったので、勉強に嫌気がさした時には特に好きな分野の学習を進めていました。

また、勉強について、私から、理系科目に自信がない中で理系を選



## 文系のような理系の勝ち方

私は文系のような理系で、数学が最も苦手な科目でした。それになぜ合格できたのかを書きたいと思っています。

数学に関する私の反省点は、夏休みの初めから京大の数学に取り組んだことです。受験生活は上手く使えば時間はたくさんあつて、夏休みに焦つて京大数学に取り組むよりも数学の定理や公式を自分の武器として使いこなせる状態にしておく方がはるかに大事です。むしろ夏休みは基本を完璧にすることに専念すべきだと思います。演習をしていれば自分の「武器」となる解法の引き出しを多く得られるはずですが、その「武器」の使い方が分かなければ意味がないです。答えを見れば解き方が分かるけれど、いざ自分で解くと

的に参加して勉強に励み、勉強が当たり前のものとして体になじむようになっていたと思います。先生に聞いておすめの問題集に取り組んだり、定期考査の対策に全力で取り組んだりしました。定期考査は常に全科目でクラス1位を狙つて、鉄人バッジも一つの目標にして対策しました。一度1位をとつたら、次の定期考査でもそのプライドにかけて、自分を追い込むようにして勉強に取り組みました。友達に「次も頑張つて1位をとる」と話し、自分にプレッシャーをかけることで勉強せざるを得ない状況を作っていました。

2つ目は、英語の基礎を3年次までにある程度まで固めたことです。特に英単語の習得を重視して、移動時には常に単語帳を携帯するようにし、事あるごとに開いていました。英単語はとにかく反復すること、発音しながら覚えることがおすすめです。ほかにも、初めて知った文法や語法、解釈の仕方などは、小さいノートにメモして後で見返していました。勉強した分だけノートが埋まつていくので、成長が目に見えて達成感を感じられるという点でも小さいノートにメモするとういと思います。

英語を3年次までに徹底的に勉強したおかげで、3年次では心置きなく大好きな数学や理科に時間を使えました。好きな教科は苦手教科よりも圧倒的に成長の伸びが大きいと思うので、受験勉強を楽しむために

2025年度の入試において、本学年は昨年度を上回る成果をおさめました。

京都大学合格者が7名(歴代2位)、京都大学25名(歴代2位)、大阪大学41名(歴代最高)、神戸大学48名(歴代2位)と、いずれも過去最高水準の合格実績を記録し、難関10大学合計は147名で歴代最高となりました。

## 進路指導部より

2025年度の入試において、本学年は昨年度を上回る成果をおさめました。

京都大学合格者が7名(歴代2位)、京都大学25名(歴代2位)、大阪大学41名(歴代最高)、神戸大学48名(歴代2位)と、いずれも過去最高水準の合格実績を記録し、難関10大学合計は147名で歴代最高となりました。

特にK3学年は難関率17.8%(歴代3位)、V2学年は51%(歴代最高、K3+V2全体でも29.3%(歴代最高)という結果は、生徒一人ひとりの努力と教職員の粘り強い支援の賜物です。

また、国公立大学医学部医学科には過去最多の24名が合格、防衛医科大学校医学科にも8名が合格し、医系進学においても歴史的成果となりました。

関関同立においても、関西大

と解けない状態が一番辛いので、一度解いた問題でなぜその解法を使うに至ったかを理解することを大事にすべきです。これはどの科目にも当てはまることで、自分の中から能動的に解法を出せるようにすること、例えば英語であつたら英作文の決まり文句や定型文を持ち、国語で論理的な解き

方

潰すのがよいです。3つ目は頼れる人を頼ることです。先生の紹介で個別指導のTAの先輩に出逢つて、その先輩に直前までずっとお世話になりました。先輩に教わつたのですが、志望校の配点を確認して戦略を立てることはかなり重要だと思えます。私はこれのおかげで、数学と理科だけを思う存分楽しんで勉強できました。ほかにも、先生に添削や個別指導を直前期に依頼し、後で先生方に自分の解答が見られるというプレッシャーの中で演習しました。また、何よりも私に指導してくださった先生方や一緒に学んだ友達に報いることができるのかというプレッシャーの中、常に緊張感を持つて勉強していました。いろんな人とかかわることで、現状を把握したり、支えあうことができたりして、本番で自分に自信が持てたと思います。

先輩の皆さんが、無理のない程度に、すすんで自分にプレッシャーをかけて、楽しい受験勉強ができることをお祈り申し上げます。

最後になりましたが、今まで支えてくださった先生方や両親、友達には感謝してもしきれません。本当にありがとうございます。

学82名(昨年比+8)、関西学院大学244名(日本一・歴代3位)、同志社大学167名(私立高校1位)、立命館大学180名(歴代3位)と、全国トップクラスの結果となりました。

さらに推薦入試でも、国公立大学医学部医学科に8名、大阪大学には11名が合格し、これは全国最多です。また、神戸大学の志入試では、文学部・医学部保健学科看護学専攻にそれぞれ1名、新設のシステム情報学部にも推薦入試の女子枠で2名の合格者を出しました。

これらの成果は、放課後の個別試験対策や添削講座、合宿などの継続的な取り組みと、あきらめず努力を続けた生徒たちの姿勢によるものです。本校では今後も、生徒の夢の実現を支えるべく、教職員一同全力で取り組んでまいります。

方を確立することは非常に有利になります。それは演習を重ねるしかないです。

また、京大受験生は八月末の冠模試の成績を気にする必要はないと思います。むしろそこでできなかったことを分析し、秋の模試である程度いい結果に繋げて周りの人や自分を安心させてあげること



に徹するべきだと思います。極論を言えば、ここで良からうが悪からうが、本番の出来にはほぼ関係ないです。自分の場合は化学と数学が絶望的だったので、九月から『化学の新演習』に取り組みました。

そして、文系みたいな理系である私の強みは、国語と英語と生物でした。国語と英語に関しては、先生がやってくださる小テストで単語や文法の基礎を高三になる前に固めておくべきです。また、二次試験対策においては、これらの科目は先生に添削していただいたことが自分の伸びに繋がりました。

最後に、一人で受験に立ち向かわないことです。一人でいるとどうしても不安になったり、抱え込んだりすると思います。家だと絶対スマホを見てしまうので、私は友達と休日自学に行きました。また、勉強をしていて一人で考えるよりも誰かに聞くことがとても効果的でした。友達や先生、そして家族がいなかったら、受験を乗り越えられていなかったと思うので、感謝でいっぱいです。皆さんも感謝を忘れずに頑張ってください。



私が志望校を決めたのは中3の時でした。京大に行けば、文学部に行けば、最高の居場所があるのではないかとなんとなく思ったからです。その時は特に京大に行くために何かしていたわけではないですが、行きたいという気持ちは持ち続けていました。入試本番が迫ってきた時に自分を奮い立たせてくれるのはその気持ちだけでした。皆さんもどんな小さな理由でも構いませんが、高3の2月25日まで「ここに入りたい」と思い続けられる大学をぜひ見つけてほしいです。

振り返れば高1までは部活動に行って遊んで寝るだけの毎日を送っていましたが、高2以降は生活の基本に勉強が入り込むようになりました。もちろん高2の時は部活動もやっていましたし休日に遊びに行くこともありました。しかし、それでも毎日勉強しようという意識でいました。高3になって部活動を引退して以降は勉強漬けの日々でした。夏休みは参考書の演習を繰り返し、秋以降の過去問演習の土台を固めました。12月になると共通テスト対策に入りましたが、2次試験の勉強も続

けました。年が明けると目先の共通テストに気を取られて共通テストの勉強ばかりしてしまいました。が、2次試験の勉強は共通テスト後すぐに行いました。

私はどうしても家で勉強することができなかったので、高3時はほぼ全ての9時学や休日自学に参加しました。受験生になるまでに自分の勉強ルーティンを確立しておくといいです。

私が受験勉強を通して意識していたのは、「二度と同じ間違いをしない」ということです。参考書を何周もする中で間違えたことは逐一ノートに書いて見返し、模試や過去問演習でおかした間違いはしつこく記憶しました。これさえできていれば、成績で大きな差をつけられるはずですよ。

以下は京大文系志望への個人的なアドバイスですが、鍵を握るのは数学だけではなく英語と社会です。特に高2からコツコツ社会を固めておくとか非常に楽になります。今高3の方も、これを読んだ瞬間からぜひ認識を改めてください。数学だけが勝敗を左右するとかえていると痛い目に遭います。

最後になりますが、合格に至るまで添削を含め多くの指導をしてくださった先生方や、私を励まし続けてくれた両親に心から御礼申し上げます。

こととそれまでにある課外活動を  
思い浮かべ、「このままじや間に  
合わない」と思いました。逆算す  
ることで自然と焦りが生まれて勉  
強するようになると思います。

二つ目は使えるものは活用し尽くすということです。2年前に読んだ合格体験記に「先生は仕事が

増えてかわいそうですが気づかないふりをしましょう」と書いてあ  
り、私もそれを実践して過去問を  
印刷してもらったり、質問しに  
行ったり、しんどい時は色々話  
しを聞いてもらったりしました。入  
試情報 特に国公立推薦入試の情  
報 に詳しい先生と仲良くしてお  
くと大きな助けになります。

また、私は高3の時に推薦入試に向けて課題研究を行いました。その際、研究に詳しい先生に論文の書き方や研究発表についてかなり指導していただきました。ちなみに課題研究が高3の時に取り組むのは勉強時間が減るので早期着手をおすすめします。

使える「もの」に関して、私は高2の6月あたりからほとんど毎日9時学に参加していました。須磨学園には他にも使えるものがいっぱいあるので自分に合ったものを賢く利用してほしいです。

三つ目は取捨選択をすることです。全部完璧、全部手を付けるのは無理です。そんな時間はありませんし、一つひとつの質が下がります。自分に合わないと思ったら、はすぐにやめましょう。

四つ目は「推し」を作ることです。

なさねばならぬ何事も



はなむけのことば

中高一貫16期生  
学年部長

16期生の皆さん、須磨学園での6年間は満喫できましたか？この6年間で皆さんは子供から大人へと大きな成長を遂げました。私は現在1ー（中1）学年の担当をしています。学年集会やスプリングキャンプを行うたびに、16期生の皆さんもこんな感じだったかと皆さんの事を思い出します。改めて皆さんは凄い集団に成長してくれました。当たり前の事を当たり前に行う事は当たり前のように思えて、実は難しい事です。皆さんの事を誇りに思います。

須磨学園生活で皆さんは質問以外にも多くの経験をしてきました。様々な事に興味を持ち始めたと思います。より大きな自由を手に入れた今こそ「なりたい自分」へのスタートです。これからは社会との関わりや新たな人との出会いを大切にして皆さんの世界をより広げていってください。広がった世界の先にはまだ知らない「なりたい自分」があるかもしれません。人生の主人

公はあなた自身です。皆さんの将来を楽しみにしています。

す。いきなり変なことを言い出したと思ったかもしれませんが、メンタル・モチベーション維持という点において、推しがいることはものすごい効果を発揮します。2次元でも3次元でも、ジャンルは何でもいので推しを作りましょう。私自身しんどい時、推しに何度も助けられて最後まで走り続けられました。

以上が勉強に対する姿勢で大切にしていくことです。加えて簡単に勉強のアドバイスもします。高1生は英単語と「青チャート」に丁寧に取り組みましょう。定期考査対策も手を抜かないようにしましょう。高2生は1学期から本格的に英数の基礎固め、秋から理科の基礎にも取り組みましょう。高2での生活は一番差が付くポイントだと思っています。高3生は自分に必要な勉強を見極めて勉強しましょう。受動的な勉強をしていたらいつの間にか間に合わなくなります。

最後になりましたが、3年間指導していただいた先生方・T・Aの先輩にこの場を借りてお礼申し上げます。良き先生方・T・Aの先輩に恵まれ、合格することができました。感謝してもしきれません。在校生の皆さん、高校生活の間で何が起こるかわかりません。時には立ち直るまでに時間がかかることがあるかもしれません。ですが、一期一会を大切に、周りの人と助け合いながら最後まで頑張ってください。

## はなむけのことば



共学24期生は、「やるべきことを徹底的にやる」「多様な考え方の模索を楽しむ」「素直」「柔軟」「教えあうことができる」「そうした姿勢を自然と備えた学年でした。授業の中でも、友人同士が教え合いながら理解を深めていく姿が印象的で、学ぶ姿勢そのものが周囲に良い影響を与えていました。合格が不合格にかかわらず、皆さん一人ひとりの努力の軌跡は、私たち教員の胸に深く刻まれています。皆さんの姿勢や姿そのものが、これからの新入生や次の世代にとっての大切な手本となるのです。

新たな環境に進む皆さんには、須磨学園で培った「学びのイロハ」を胸に、自分のペースで周囲を見渡しながらか、しなやかに、そして大胆に進んでいってほしいと願っています。また、新入生の皆さん、大学受験はすでに始まっています。このSumaPressに載っている先輩たちの言葉を、これからの指針として、大切に読み返してみてください。自分の「これから」を描く一歩となるはずです。





大阪大学  
文学部人文学科

## 推薦のちよつとしたポイント

私が総合型選抜で合格すること  
が出来たのは、先生方をはじめと  
する多くの方々が支えてくださっ  
たお陰です。多大なるお力添えを  
いただき、感謝申し上げます。こ  
の合格体験記では普段の勉強と推  
薦入試の対策で大切にしていたこ  
とについて簡潔に述べようと思ひ  
ます。

①授業中の心の中は賑やかにする  
授業中はつい先生の話を聞くだけになってしまいがちですが、私は先生の説明に対して「なるほどな」や「なんでそうなるんや」など、様々なリアクションを心の中であえてとるようにしていました。これによってより主体的に授業に参加でき、知識が身につくようになりました。

②スキマ時間を有効活用する

私は吹奏楽部に高三の八月まで所属しており、人よりも少し勉強時間を確保しにくかったからこそ、他クラスへの移動中や予鈴が鳴ってから先生が教室にいらっしゃるまでの間など、多くのスキマ時間で予習復習や分からない質問

題に関する質問などをしていました。一日一日を無駄にしていけないという自覚が、次第に自信へと繋がっていったような気がします。

### ③ 推薦の対策は早めに始める

私は高三になる頃には推薦入試を受けることを決めていたのですが、本格的に動き始めたのは九月に入ってからでした。志望理由書の作成にかなり手こずってしまった結果、別の提出物に手が回らなくなり、心から満足していくものも完成しませんでした。推薦入試を考えている人は、学年の先生や進路指導部の先生になるべく早い段階で協力を仰いでおくことをお勧めします。

④考えをとにかく深める

多くの推薦入試では面接が課されていると思います。ノートでもパソコンでも何でもいいので自分の考えていることを全て文字に起こしてみましよう。そうすることで、今現在の思考を整理し深めることや新たな気づきを得ることができます。これが面接の対策に役立ちました。

以上です。推薦入試は「この大学のこの学部学科に入りたい」という熱意がどれだけあるかが鍵を握っていると思います。一か八かで勝負したり中途半端な覚悟で受験すると一般入試まで辛くなる式で失敗してしまうかもしれません。須磨学園にはとても頼りになる先生方が多くいらっしゃいます。大学で学びたいことがはっきりしている方や課外活動などで強みがある

る方は是非、周囲の力も借りながら推薦入試に挑戦してみてください。皆さんのご健闘をお祈りしています。



大阪大学  
文学部人文学科

希望がある限り

入学当初、私は学年の真ん中ほどの成績でⅡ類のクラスに所属していた。ただ、「上を目指したい」という強い思いから、Ⅲ類への進級を目標に掲げた。１年生の頃は国語・数学・英語の基礎を固めることを重視し、模試で良い成績を取るために勉強に励んだ。数学は習った範囲の問題を繰り返し練習し、英単語や古文単語は単語帳を一冊覚え切る勢いで暗記。積極的に関心講座も受講した。放課後は教室に残り、一心不乱に勉強した。その努力が実を結び、模試の成績は徐々に向上。２年生ではⅢ類の又系クラスに進むことができた。この頃には、目標を京都大学に定め、さらに成績を伸ばすべく勉強を続けた。毎月の模試や定期テストの復習を徹底し、弱点克服に取り組む日々。成績は順調に上がり

の苦手科目であり、単語帳に載っている英単語すら全て覚えているか怪しいほどでした。英単語、文法は3年生までに固めておくことをおすすめします。

最後になりますが、私が一番伝えたかったのは最後まで諦めないでほしいということです。私は最後まで志望校判定が悪く、共通テストも失敗しました。自分の出来なさに何度も悩んで挫折し泣きました。しかし今まで私が一番熱心に取り組んだのは2次試験の英語であり、一番行きたい大学も大阪大学でした。リスクは大きいですが2次試験で点数を取れば大逆転も起こる、諦めたくないと最後まで戦い続けた結果合格したので、皆さんにもぜひ自分を信じて最後まで戦い続けてほしいと思います。



大阪大学  
薬学部薬学科

順当な逆転合格

この度、私は第一志望であった大阪大学薬学部に合格することができました。中学生の頃は、模試の順位も150人中1300の140位を行き来し、最後までA

続け　まさに鰻登りだった。しかし、3年生になると状況は一変。京都大学対策の特別講座では、中高一貫生たちと肩を並べることにになったが、答案はバツばかり、模試はC判定。どれだけ努力しても結果が出ず、スランプに陥った。絶頂から一転、急激に下降する成績。このままでは、どれだけ頑張っても合格は難しいのではないか。そうした不安の中、私は自分に問いかけた。

「本当に京都大学に行きたいのか？」

改めて自分の進路を見つめ直したとき、自分の目に輝いて映ったのは他の大学―大阪大学―だった。そこでは、私が本当に学びたい分野を深く学ぶことができる環境が整っていた。私はそれまでの進迷いを断ち切り、大阪大学への進学を“妥協”ではなく、“希望の光”として選ぶ決意をした。そこからは、大阪大学の過去問を中心に対策を進めた。特に国語は記述式の問題が多いため、担任の先生に添削指導をお願いした。先生は私の答案を丁寧に添削し、考え方の改善点を具体的に教えてくださった。また、学校の9時学と休日自学も大きな支えだった。長時間集中して学習することで、着実に力をつけることができた。迎えた本番。私はこれまでの努力を信じ、落ち着いて問題に向き合うことができた。結果、無事に合格を勝ち取った。

リンカーンはこう言った。

判定なんてほとんど取ったことがなく、高3の秋の冠模試でもD、E判定だったので、世間ではこれを逆転合格というのかも知れません。しかし、私は、もちろん多少の不安はあったものの、自分を信じ、「順当に逆転するだろう」と思い、勉強を続けることができた自分でした。そう思うことができた自分自身の受験勉強における要点を3つあげたいと思います。

1つ目は、高2・高3の4月までは、“超”苦科目を無くすことです。実際、私も英語が大の苦手で模試の校内偏差値が発熱時のヒトの体温並みで高2の学年末には大変焦っていたことを覚えています。ここでとても大切なのは、一度だけではなく、二度でも三度でも「基礎に立ち返る」ことです。高2の3月は毎日少なくとも2時間間は英語の時間を取り、英文法や簡単な英文解釈などに取り組み、英語の土台を固めるよう努めました。すると、高3の6月頃の模試では、英語の偏差値が67程まで上がり、基礎の重要性を再認識できました。

2つ目は、学校をどんどん活用することです。須磨学園には素晴らしい先生がたくさんいるので、授業に集中して、積極的に質問に行き、必要とあらば特別講座に出て、また、添削をお願いするべきです。質問や添削を通して、新たな知識やより深い学びを得ることができます。私は、数学、英語、生物、小論文の添削をしてもらい、

## はなむけのことば



この春、志望大学に見事合格された皆さん、おめでとうございます。特に難関大学への挑戦は、どれだけ学力に自信がある人であっても緊張や不安があったことでしょう。そのプレッシャーに負けずに挑戦した勇気を、合格以上に認めたいと思います。その勇気の背後には、これまでの皆さんの努力を知る家族や教員の応援、そしてその努力に裏打ちされた自分自身に対する大きな自信があったはずです。だからこそ、合格以上に得難い人生の財産であるというこころでは皆さん自身が最も感じているのではないのでしょうか。

大学選び、学部選びは、これから始まる皆さんの人生の一大舞台のほんの序曲です。この先の人生の中で様々な選択を迫られることでしようが、勇気を出して、どうぞ大いなる挑戦を選んでください。もしもその時に周囲に味方が少なくて不安な時は、この挑戦と成功を思い出してください。そうすることで、この経験は皆さんの人生を何度でも明るく照らしてくれるはずです。

はなむけのことば



16期生の皆さん、卒業おめでとうございます。濃密で激動の6年間を経て、たくましく成長して旅立っていく皆さんを誇りに思います。

卒業にあたり、私は「人生、楽しいのはこれから。」という言葉を何度か発してきました。この6年間のうちに濃密なものだとしても、これまで以上に多くの驚きに満ちた発見が、この先に待っているでしょう。多くのことに挑戦し、時に失敗しつつも、さらに成長していくことでしょう。「なりたい自分」になるための旅のハイライトは、この先にある人が多いのではないかと思います。私は教員になる前に、別の職を経験し、海外での生活も経験しました。必ずしもその遠回りをおすすめするわけではなくですが、私はその数年のおかげで今の自分があり、その経験があったからこそわずかながらでも皆さんの力にのたれたのではないかと信じています。

これからの人生を悔いなく  
生きるためにもぜひ、「人生  
楽しいのはこれから」である  
と信じて、色々なことに挑戦  
してほしいと思っています。  
皆さんの将来の活躍を心から  
祈っています。



答案の書き方や習熟度などが飛躍的に高まったと思っています。また、人によっては9時学の参加もおすすめです。私は家で集中ができないタイプだったので、高3ではほとんど9時学に参加していました。そのおかげで、勉強習慣や勉強に対する体力をつけることができました。

3つ目は、最後まで諦めずに努力を続けることです。現役生は、本当の本当に最後の最後まで伸び続けます。秋の冠模試では、生物が3、4割しか取れず、「もう無理なのでは?」と、かなり落ち込みました。しかし、すぐに気持ちを切り替えて生物の勉強に必死になって取り組んだところ、共通テスト本番では94点、二次試験では自己採点ではあるものの7割近くも取ることができました。直前であらうと、基礎に立ち返ることが本当に大切です。

最後になりますが、努力はすぐに成績には反映されないものです。今後、努力しているのに成績が伸びず、取り組み方などに疑問を抱くこともあるかと思いますが、しかし、勉強に対する不安は勉強でしか払拭できません。自分はこれだけやってきたんだという自信とまだまだ伸びるんだという自信を持って、取り組み続ければ必ず道は開けます。頑張ってください!



神戸大学  
システム情報学部  
システム情報学科

★  
M  
C

### 自分のルールで勝ち取った合格

初めに、合格体験記を書かせていただけることを嬉しく思い、また私の受験を支えてくださった先生方、家族、友人に心から感謝申し上げます。

私は女子枠の推薦入試で神戸大学に合格しました。もともと乗り物に興味があったことから漠然と工学部を志望していましたが、推薦入試を受けるつもりはありませんでした。しかし、担任の先生からシステム情報学部が新設されることを教えていただき、面接で自分の夢への思いを直接伝えられる点に魅力を感じたので、推薦を受けることを決意しました。

正直なところ、私は推薦に向いている性格ではないと思っています。緊張しやすく、文を書くことも得意ではないため、面接や志望理由書作成には苦労しました。志望理由書の作成では、書き方がわからず、数時間かけても一文字も書けませんでした。何を伝えたいのかを箇条書きにした状態から、何度も書き直し、先生に添削していただきました。面接練習では、

初め思っていることをうまく言葉にできず、先生の質問にほとんど答えることができませんでした。が、どのように答えるべきかを先生に協力していただきながら考えました。質問に対する答えを暗記するのではなく、自分のアピールポイントをもとめて、どんな質問にも対応できるように準備しました。

私が大学受験において一番大事だと思うことは、自分のルールを作ることです。例えば、私は夜に弱く朝に強かったため、9時学をしない代わりに朝7時までには登校するということや、自習するときは職員室前ですするというルールを決めていました。他にも、勉強を頑張ったら好きなものを買う、PMシートには項目を消しやすいうように問題ごとに分けて書く、やる気が出ないときは好きな教科の好きな単元をやる、朝の電車では英単語を勉強する、一日1枚数学のプリントを解くというルールを実行していました。自分で決めたことをきちんと守ることで、小さなことでも達成感を味わうことができるのでおすすめです。

将来に不安を感じることがあるかもしれませんが、自分と先生を信じて、志望校合格をつかみ取ってください。応援しています。



神戸大学  
医学部医学科

★  
G  
★  
G  
★  
G  
★  
F  
★  
E  
★  
E  
★  
E  
★  
M  
★  
J  
★  
W  
★  
W  
★  
G  
★  
G  
★  
G  
★  
S  
★  
S  
★  
B  
★  
A

### 後輩に伝えたいこと

僕は夏休み明けから友達と一緒に自習室に通い始めました。1人ではやる気が出なくて、今日は良いかなあと思うときも、隣で頑張っている友達を見ることが自分も頑張らなきゃという気に繋がりました。一概には言えませんが、PM・TMに関しては必須で取り組むべきだと思います。自分の目標へのプロセスを可視化することによって合格への道しるべになると思います。

最後に少し変わった受験をした僕から一言。決断の思い切りが大切!理系でも文系、文系でも理系の受験をすることはできるよ!自分の得意不得意に合う受験方法は結構あります!周りの無理だよ!やめときな!の声に流されちゃダメ。結果で見返しましょう!自分を信じて最後の最後まで続けることが一番の成功への道です。結果はついてくる!

それでは合格への良い旅を、

医学部合格には共通テスト80%越えはマスト、もっと言うと85%は必要になってきます。実は冬の時点で私は8割届かず、文系科目だけにフォーカスすると6割7割しか取れていませんでした。そこで私は積極的に先生に質問をし、どう考えたらこのような答えにたどり着けるのかという理論的な考え方を一から教えてもらい、先生から出された大量の問題を必死に解きまくることで、本番では9割近い点数を取ることが出来ました。1人で受験を乗り越えるという方法もありますが、現役生は初めての受験なのでやり方や工夫へ

の視野が狭いです。経験を積んだ先生方に聞いてみると、多くの解決策を提案してくれました。例えば、第1志望と似た難易度の大学の問題や記述問題の上手な書き換え方であったり、勉強以外でも大学生活の雰囲気であったり、色々な道を教えてくださりました。

今受験を終えて思うことは、先生を頼るのに手遅れな時期はないです。私は受験の1年を通して最後の1カ月である2月は特に先生にお世話になり、20年以上の過去問の添削をお願いし、質問に行きました。須磨学園の先生方は生徒のわがままにもしっかり答えて、丁寧に指導してくださるので、もし少しでも不安があるのであれば相談してみてください。

そして基礎を大事にするという観点はどの大学を受けるにあたっても重要です。共通テストはミスしないスキル、2次試験は簡単な問題を落とさないスキルが必要とされるため、そもそも基礎的な問題が解けないと意味がありません。化学、物理だと難しい問題に手を出したくなる気持ちも分かりますが、結局どれだけ難しい問題が解けたとしても基本問題を落としていたら周りとの差は大きく広がります。私の場合、直前期は『リードα』や『重要問題集』を解き、問題を見たら解き方がすぐ頭に出る位までやりこみました。私は合格発表までの期間、あの問題が解けなかった、この問題が理解できなかったと不安になり、絶



神戸大学  
経済学部経済学科

★  
C  
★  
A  
★  
A

### 受験は友情ゲーム??

このような合格体験記を書かせていただけることを光栄に思っています。

まず勉強についてですが、僕は高校1、2年の間これといった勉強はしていません。これは後悔です。英単語と文法はここで仕上げておくべきでした。このことで後に地獄を見ることになりました。

3年生になり、1学期に死ぬ気で英語を勉強したものの時すでに遅し。2次試験の英語を諦め、数選抜にスイッチしました。結果的にはここでの早めの判断が良かったと思います。夏休みから10月までは先生に頼んでプリントをもらってずっと数学の勉強をしていました。これによってかなり自信ができました。11月に入ってから共通テスト対策。苦手な教科も過去問や対策問題をひたすら解いて問題に慣れることで、ある程度は解けるようになりました。どの教科にも言えることですが、特に英語に関しては復習が大切だと思います。90分問題を解いた後で復習にその何倍もの時間がかかるというのが当たり前でした(こ



神戸大学  
医学部保健学科

★  
M

### to be myselfをきねんができました

高校3年間は自分でも想像してないようなものでした。私を支えてくれた友達や先生方には、感謝しきれません。各教科の本格的に勉強を始めた

はなむけのことは



高等学校24期生  
学年副部長

高校3年生にとって、卒業は人生の大きな節目のひとつです。須磨学園での3年間で振り返ると、多くの思い出がよみがえることでしょう。友人との何気ない会話、部活動での汗と涙、そして何よりも受験に向けて努力した日々。それらすべてが、かけがえのない経験となり、これからの人生の支えとなります。

受験勉強は決して楽なものではありませんでした。模試の結果に一喜一憂し、時には思うように成績が伸びず、焦ることもあったでしょう。しかし、その努力こそが皆さんを大きく成長させました。これからそれぞれの進路へ進むことになりますが、この経験を自信に変え、新たな挑戦に向かってください。

最後に、はなむけの言葉を贈ります。「努力は裏切らない」という言葉がありますが、努力の結果はすぐに見えなくても、必ずどこかで実を結びます。須磨学園で培った知識、友情、そして努力を大切に、新しい世界で自分らしく羽ばたいてください。皆さんの未来が輝かしいものとなることを心から願っています。

時期は、数学と理科基礎は1年生から、生物は2年生夏から、それ以外は3年生からです。どの教科も完成した意識を持つことなく、最後まで追われる気持ちで勉強していました。第一志望を神戸大学に決めた時期は、2年生の夏でした。

ここからは、私が3年間でやってきたことについてお話します。

1年生の頃は、出されていた課題をとにかくこなしていました。数学に関しては課題がかなり出されていたので、そのおかげで基礎力がついたと思います。私は理科基礎の定期テスト勉強をかなりやっていたので、3年生まで内容が大きく抜け落ちることなく学習できたと思います。後々苦しむ人もいるので、1年生の時にしっかりとやっておくのが効果的です。あとは、1年生から英語の有名な先生の参考書をしつかりやっておけば、後々焦らなくていいと思います。

2年生の夏前に進路を大きく変更し、そこから曖昧だった勉強法を大きく変えて確立させました。早いうちに先生やTAの先輩に相談して、自分の勉強法を見つければいいです。進路を変えたことで生物が必要になったので、まず生物基礎を全復習して参考書を一周し、そこから生物の教科書内容に入りました。生物の勉強法は、資料集やYouTubeの動画などを見て内容を理解し、参考書の問題を解いて、わからないことがあればTAの先輩に質問するという



ものでした。T Aの先輩さんにしつかり管理してもらえたので、本当に助かりました。

2年生の最後ぐらいから、数学の応用対策に入りました。神戸大学の数学の過去問や模試の過去問を解いてしつかり復習する、これを始めてから数学の模試の点数、特に記述模試の点数が上がりました。基礎が固まってきたなと思えば、応用や記述の対策に入るべきです。

3年生から生物の記述の対策に入りました。生物の特別講座にも参加させてもらい、演習量を増やしました。

共通テストの対策は、共通テストマラソンの問題をしつかり復習する、使うかもしれない科目まで勉強時間を割くという意識を持ってやれば、きっと実を結ぶと思います。

学校の学習システムで役に立ったと思うものは、T Aのシステムと自学をする環境が整っていたことです。これらのおかげで、学校で学習が完結できたと思います。

進路を大きく変えたこともあり、大変な3年間でしたが、神戸大学に合格したいという気持ちや、私の頑張りを学年の先生方が見てくださったことがモチベーションになっていました。周りの人たちに助けられてつかみ取れた合格だと思っています。本当に3年間、ありがとうございました。

それらを克服するには、教科書や参考書を見直す、友人に聞く等色々ありますが、まずは先生に頼るのが一番だと思います。私も受験直前まで複素数平面が苦手で、先生にそれに関する問題を集めたプリントを作っていたいたり、過去問を個別に添削していただいたりして克服しました。

最後に、ここまで私のおすすめの勉強法を紹介してきましたが、結局は自分に合った勉強法を模索することが一番だと思います。大事なことは、それをどの段階で終え、いつ実行に移せるかだと思っています。皆さんは今後辛いこともあるかと思いますが、自分や先生方を信じて走り抜けてください。応援しています。



北海道大学  
獣医学部獣医学科

## ★☆☆☆☆ 楽しく戦った受験生活

私は1日に12時間勉強するなどといったことができる人間ではなく、1日に8時間は寝て昼寝は欠かせない人でした。それでなぜ合格できたのかを書きたいと思います。

まず、できるだけ早くに受験勉



大阪公立大学  
医学部医学科

## ★☆☆☆☆ 須磨学園を信じた六年間

初めに、私が医学部合格という夢を実現するためにたくさんのご指導をしてくださった先生方や、常に支えて応援してくれた家族、最後まで一緒に闘い抜いた友人に心から感謝申し上げます。私の経験が少しでもお役に立つことができれば幸いです。

幼いころから医師になりたいという夢を抱き、医学部合格に向けて日々努力を重ねてきました。そんな私が須磨学園で学校生活を送るにあたり、特に意識していたことが三つあります。

一つ目は、学校を最大限利用するということです。中高6年間、授業の予習復習や課題、確認テスト、再テストはすべて完璧にこなすようにしていました。今思えば、これらの小さな積み重ねによって基礎固めができたのだと思います。高3は休日自学にすべて参加し、夏休み以降は、毎朝6時半に登校しました。一人で勉強しているときでも必要以上に不安になつたり焦つたりしてしまいますが、学校に行くとき先生方に質問対

応をしていただったり、休み時間に友人としゃべってリフレッシュしたりできます。苦手な現代文と地理は、しつこいほどに先生のもとへ質問に行き、数学の先生には難関大学の過去問を一日一題、個人的にお願いして用意していただき、毎朝解き続けました。本当にたくさんの方のおかげで頑張ることができました。

二つ目は基礎を徹底するということです。標準的な問題を完璧に解けるようにしておけば、不安になる必要はないと思います。私自身、二次試験本番での数学の手ごたえは最悪で、試験が終わって会場から出た瞬間に泣き崩れてしまいました。それでも結果として合格できたので、やはり皆が解ける標準的な問題をいかに落とさないかが勝敗の分かれ目だったのだと思います。

三つ目は、勉強以外にも全力で楽しむということです。特に高校3年生では勉強漬けの日々になりますが、文化祭や体育祭などの学校行事は準備段階から手を抜かず、全力で取り組みました。大好きだったハンドベル部も最後のステージまで続けました。行事や部活動は勉強の息抜きになり、かけがえのない思い出になりました。

最後に、受験勉強を全力で楽しめ、全力で喜び、全力で悲しみ、全力で挑戦することで得られるものはたくさんありました。しんどいときでも、寄り添ってくれる先生方や友人のおかげで頑張ることが

くするミスのパターンなどが明確になり正確性を高めることができました。

最後に、受験勉強を乗り切るのに欠かせないものは、ともに頑張る仲間、情熱のある先生方と支えてくれる家族です。受験をする中で孤立感や不安を感じることがあったのですが、先生方が個別で対策をしてくれたり、できるだけ友達と一緒に自習したりしてそういった不安を解消しモチベーションを保つことができました。自習室でいつも頑張っている友達を見て自分も頑張ろうという思いがわき、熱心な先生を見て恩返しをしたいという思いがわいてきて頑張りが続くことができたので、学校を最大限活用することが合格の秘訣なのだと思います。

自分と周りの人たちを信じて頑張ってください！



東京藝術大学  
音楽学部  
器楽科オルガン専攻

## ★☆☆☆☆ 自分の可能性を信じて

初めに、高校生活3年間支えてくださった先生方、家族、そして一緒に頑張ってきた仲間に感謝申

ができました。ぜひ須磨学園という場所を最大限活用してください。皆さんの努力が実ることを心から願っています。



香川大学  
医学部医学科

## ★☆☆☆☆ 理解を深める

まず初めに、先生方をはじめ、これまでお世話になった方々にこの場をお借りして心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、ここからは、私が意識して実践した勉強法を三つ紹介します。

一つ目は、音読です。古文単語や英単語を覚える際、声に出して、そしてなるべく早いペースで繰り返しすることが大切です。具体的には、一単語につき二、三秒でまわすのが良いと思います。おそらく三周目くらいまでは文字面しか頭に入ってきませんが、五周、六周と繰り返すうちに単語と意味がセットで入ってくるようになってきます。特に英語では、声に出すことで効率よく暗記できるだけでなく、リスニング対策やスピーキング対策

し上げます。本当にありがとうございました。

私は、音大に進学することになりましたが、おそらく私のような進路決定の仕方は珍しいと思うので、このような決め方も可能だという一つの例として、後輩の皆様

に役立てたらと思います。

私はI類に音楽の推薦で入学しましたが、高校1年生まで音大には絶対に行かないと自分の中で決めていました。しかし、先生の勧めや両親の協力もあり自分の意志が高校2年生のときに変わりました。ここからは何がどのようになって変化したのかをお話しようと思います。

私の意志が変わったきっかけは3つあります。

一つ目はオープンキャンパスです。高校1年生の頃の私は何もやりたいことがなく、将来やりたいものもありませんでした。そのため、とにかく気になった大学、行ける可能性のある大学のオープンキャンパスに行きました。音大に行かないと決めていたと前述しましたが、両親の勧めで念のためオープンキャンパスには行きました。東京藝術大学のオープンキャンパスに行き、パイプオルガン専攻に少し興味を持ちましたが、私がやっている楽器はエレクトーンで、さらにパイプオルガンを習える場所が見つからず一度諦めました。しかし、この時点でオープンキャンパスに行っていないければ、私の進路の選択肢に藝大は入って

にもなるのでおすすめです。

一つ目は、単語以外は暗記ではなく理解をメインにするということです。受験生にもなると、高校三年分の膨大な知識を頭に詰め込み、本番ではそうした武器を使いこなす必要があります。しかし、全てを暗記で乗り切ろうとすると頭がパンクしますし、試験中緊張で知識が飛んでいったら元も子もありません。そうならないためにも、理解することが大切だと伝えたいのです。特に無機化学は「暗記ゲーム」と言われますが、それは語弊があります。実際、無機化学はそれ単独の単元ではなく、化学基礎で学ぶ元素特有の性質や、理論化学で学ぶルシャトリエの原理等と密接に結びついており、そうした考え方と繋げて捉えることで暗記量を格段に減らすことができます。そして、理解すること、たとえば知識の一部分が抜けてもストーリーで覚えているため全体を忘れるということはまずありません。こうした単元を越えた学習をする上では、化学でいうと、教科書はもちろん、『化学の新研究』を読み込むのが良いと思います。それとは別に、補足程度ですが、化学系のYouTubeで「受験メモ山本」という方の動画を見ることをおすすめします。これらは自分も非常に参考にし、化学全般に対する見方が変わりました。

三つ目は、穴をつくらないということです。誰も一つや二つ苦手な単元があるかと思っています。

いなかったかと思っています。そのため、私は後輩の皆さんに少しでも可能性のある大学のオープンキャンパスには、なるべく早く行っておくことをおすすめします。

2つ目は、須磨学園という環境です。私は須磨学園に入っていないかったら、自分が藝大という進路選択をすることは絶対と言っていたいほどなかったと思います。音大に行くつもりはありませんでしたが、音楽の知識を増やすことは好きだったので、1年生の頃から音楽演習で音大を目指す友人や先輩と一緒に授業を受けていました。そのおかげで進路選択が遅くても焦ることなく受験でき、合格という道も開けました。さらに、同級生で藝大を目指す仲間がいたからこそ、私も藝大に挑戦してみようと思う気持ちが芽生えました。

3つ目は、高校生活での様々な経験です。部活動では、自分たちで一から野外コンサートを作り上げたり、エレクトーンと吹奏楽のための曲の作・編曲に挑戦したりと、自分の可能性を広げることができました。どれも不安や葛藤がありました。最後までやり切るという経験が、受験期間の辛さを乗り越えられたことに繋がったのではないかと思います。

私の進路選択や内容そのものの身体少し特殊な形ですが、後輩の皆さんには今ある環境と一緒に頑張る友人、そして自分の意志を大切に



## 2025年度 大学合格実績

現役・既卒生を合わせた延べ人数です。（ ）は既卒生。  
2025年4月22日現在

## 国公立大学

|        |        |            |       |
|--------|--------|------------|-------|
| 東京大学   | 7 (1)  | 名古屋工業大学    | 1     |
| 京都大学   | 25 (1) | 鳥取大学       | 6 (1) |
| 大阪大学   | 41 (3) | 島根大学       | 2 (1) |
| 神戸大学   | 48 (5) | 岡山大学       | 9 (1) |
| 北海道大学  | 13 (4) | 広島大学       | 8 (1) |
| 東北大学   | 1      | 山口大学       | 2     |
| 東京藝術大学 | 2      | 徳島大学       | 7     |
| 東京科学大学 | 3 (1)  | 香川大学       | 8 (3) |
| 一橋大学   | 1      | 愛媛大学       | 4     |
| 名古屋大学  | 4 (1)  | 高知大学       | 4     |
| 九州大学   | 4 (2)  | 九州工業大学     | 1     |
|        |        | 熊本大学       | 1     |
|        |        | 琉球大学       | 1 (1) |
|        |        | 都留文科大学     | 1     |
|        |        | 公立諏訪東京理科大学 | 1     |
|        |        | 福知山公立大学    | 1     |
|        |        | 新見公立大学     | 1     |
|        |        | 岡山県立大学     | 2     |
|        |        | 尾道市立大学     | 1     |
|        |        | 下関市立大学     | 1     |
|        |        | 高知工科大学     | 1     |
|        |        | 北九州市立大学    | 1     |
|        |        | 九州歯科大学     | 1     |
|        |        | 防衛医科大学校    | 9 (1) |
|        |        | 防衛大学校      | 18    |

|           |        |
|-----------|--------|
| 滋賀大学      | 3      |
| 滋賀医科大学    | 1      |
| 京都教育大学    | 1      |
| 京都工芸繊維大学  | 3      |
| 大阪教育大学    | 2      |
| 奈良女子大学    | 2 (1)  |
| 奈良教育大学    | 1      |
| 京都府立大学    | 1      |
| 京都府立医科大学  | 1      |
| 大阪公立大学    | 18 (2) |
| 兵庫県立大学    | 34 (7) |
| 神戸市看護大学   | 2      |
| 神戸市外国語大学  | 1      |
| 奈良県立大学    | 1      |
| 奈良県立医科大学  | 1      |
| 和歌山県立医科大学 | 1      |
| 筑波大学      | 2      |
| 埼玉大学      | 1      |
| 千葉大学      | 1      |
| 電気通信大学    | 1 (1)  |
| 東京海洋大学    | 1      |
| 東京農工大学    | 1 (1)  |
| 横浜国立大学    | 2      |
| 富山大学      | 2 (1)  |
| 金沢大学      | 1 (1)  |
| 岐阜大学      | 1      |
| 静岡大学      | 2      |

## 医学系統

|                   |       |
|-------------------|-------|
| ■国公立大学・大学校 医学部医学科 |       |
| 神戸大学              | 4 (1) |
| 筑波大学              | 1     |
| 富山大学              | 1 (1) |
| 滋賀医科大学            | 1     |
| 岡山大学              | 2     |
| 山口大学              | 1     |
| 徳島大学              | 1     |
| 香川大学              | 5 (2) |
| 愛媛大学              | 2     |
| 高知大学              | 2     |
| 京都府立医科大学          | 1     |
| 大阪公立大学            | 2     |
| 奈良県立医科大学          | 1     |
| 防衛医科大学校           | 8     |

|                 |       |
|-----------------|-------|
| ■国公立大学・大学校 看護学科 |       |
| 神戸大学            | 7     |
| 神戸市看護大学         | 2     |
| 防衛医科大学校         | 1 (1) |

|               |   |
|---------------|---|
| ■国公立大学 歯学部歯学科 |   |
| 大阪大学          | 1 |
| 九州歯科大学        | 1 |

|                 |       |
|-----------------|-------|
| ■国公立大学 薬学部(6年制) |       |
| 京都大学            | 1     |
| 大阪大学            | 2     |
| 北海道大学           | 1 (1) |
| 岐阜薬科大学          | 1     |
| 和歌山県立医科大学       | 1     |

|             |   |
|-------------|---|
| ■国公立大学 獣医学部 |   |
| 北海道大学       | 1 |
| 山口大学        | 1 |
| 大阪公立大学      | 1 |

|              |        |
|--------------|--------|
| ■私立大学 医学部医学科 |        |
| 東北医科薬科大学     | 1 (1)  |
| 国際医療福祉大学     | 1      |
| 杏林大学         | 1      |
| 愛知医科大学       | 2 (2)  |
| 大阪医科薬科大学     | 5 (1)  |
| 関西医科大学       | 11 (1) |
| 近畿大学         | 4 (3)  |
| 兵庫医科大学       | 9 (2)  |

|            |   |
|------------|---|
| ■私立大学 獣医学部 |   |
| 酪農学園大学     | 2 |
| 日本大学       | 1 |
| 日本獣医生命科学大学 | 3 |
| 麻布大学       | 2 |

|          |        |
|----------|--------|
| ■関西三薬    |        |
| 京都薬科大学   | 6 (1)  |
| 大阪医科薬科大学 | 1      |
| 神戸薬科大学   | 14 (4) |

## 私立大学

|        |        |
|--------|--------|
| ■早慶    |        |
| 早稲田大学  | 29 (2) |
| 慶應義塾大学 | 19 (2) |

|        |        |
|--------|--------|
| ■上理    |        |
| 上智大学   | 7      |
| 東京理科大学 | 17 (3) |

|          |       |
|----------|-------|
| ■G-MARCH |       |
| 学習院大学    | 1     |
| 明治大学     | 17    |
| 青山学院大学   | 7 (1) |
| 立教大学     | 1     |
| 中央大学     | 8 (5) |
| 法政大学     | 5 (1) |

|        |          |
|--------|----------|
| ■関関同立  |          |
| 関西大学   | 82 (3)   |
| 関西学院大学 | 244 (32) |
| 同志社大学  | 167 (12) |
| 立命館大学  | 180 (21) |

|        |          |
|--------|----------|
| ■産近甲龍  |          |
| 京都産業大学 | 7        |
| 近畿大学   | 212 (39) |
| 甲南大学   | 35 (7)   |
| 龍谷大学   | 8 (1)    |

## 学校説明会・見学会のご案内

いずれもお申込みが必要です。詳しくはホームページをご覧ください。

※靴袋・上履き・スリッパ等を必ずご持参ください。 ※自家用車でのご来校はご遠慮ください。

## 中学校

|                  |                            |
|------------------|----------------------------|
| ◆学校説明会           | Web受付開始日時                  |
| ●場所…本校           | 5/24 (土) 5/1 (土) 10:00~    |
| ●時間…10:00~12:00  |                            |
| ◆オープンスクール        |                            |
| ●場所…本校           | 6/ 1 (日) 5/12 (日) 10:00~   |
| ●時間…10:00~12:10  | 9/ 1 (日) 10:00~            |
|                  | 10/19 (日) 9/29 (日) 10:00~  |
| ◆学校説明・入試説明会      |                            |
| ●場所…本校／Zoomライブ配信 | 11/22 (土) 10/27 (日) 10:00~ |
| ●時間…10:00~12:00  |                            |

## 高等学校

|                                |                  |
|--------------------------------|------------------|
| ◆学校説明・入試説明会                    | Web受付開始日時        |
| 10/18 (土)・10/25 (土)            | 9/16 (日) 10:00~  |
| 11/ 1 (土)・11/ 8 (土)            |                  |
| 11/16 (日)・11/23 (日)            | 10/14 (日) 10:00~ |
| 11/30 (日)・12/ 7 (日)            |                  |
| ●場所…本校／Zoomライブ配信 (11月1日・30日のみ) |                  |
| ●時間…10:00~12:00                |                  |

学校説明会・見学会  
等の須磨学園最新情  
報はホームページを  
ご覧ください！<https://www.suma.ac.jp/>